

◎報告書における提案一覧

区分	必要な取組	詳細項目	具体案の例示	
① 担 い 手 ・ 人 材	ア. 参加促進	1. 各世代に合った参加の仕組みや呼び掛けが必要	小学生が参加しやすい地域行事を増やす	子ども会運営のノウハウ共有。町内会対抗ごみ拾い大会。子ども事業に関するポイントカード。
			子育て世代への参加促進	子育て世代交流の場(子育てサロン、ママトモサロン)、交流機会の創出。
			若い人が地域でやりたいことを実現する仕組み	若い世代の意見・アイデアを実現できる仕組み。
			退職者へのPR	退職者に向けた啓発用冊子の作成・配布。研修会の実施。
		2. 負担が軽いライトな参加を受け入れる仕組みが必要	町内会の組織・体制の見直し検討	町内会が組織や体制などを検討する際のアドバイザーやファシリテーターを派遣。
			行事ごとに興味がある人が参加できる仕組み	行事の実施に際して、担当者をその都度募集する仕組み作り。
			若者が役員等で活躍できる仕組み	若者が常駐するスペース(会館、まちセン等公共施設)の設置。
		3. 地域活動へのインセンティブが必要	加入のインセンティブ	市有施設等が割引になる等の仕組み。
			参加のインセンティブ	参加のポイント制度。活動貢献についての表彰制度。
			活動団体へのインセンティブ	金銭的な補助。活動保険に加入しやすくなる仕組み。表彰制度。加入促進に対する補助・サポート。
		4. 活動の見える化、情報発信が必要	活動が見える化するための取組強化	活動内容、行事内容、費用用途等を紹介するチラシの作成・印刷をサポート。
			情報発信するための取組強化	電子町内会の支援。地域ロゴ・キャラクター等の作成・活用。フリーペーパーと協力。掲示板等で日常的な情報発信。
		5. 意識づけ・関心を高める取組が必要	幼いころからの地域活動教育	小中学校で地域活動に触れる機会を増やしていく。
			地域参加意識の啓発強化	様々なメディアを活用して地域活動への参加を啓発。大学入学時に学生に啓発。
			地域コミュニティへの参加を意識づける条例等	地域活動への参加についての理念を定めた条例や宣言。
	イ. ノウハウ蓄積	1. 他町内会・他地域の活動事例等の共有、意見交換・交流の促進が必要	活動事例の共有化	活動事例や工夫していること等の情報共有。
			地域活動についての意見交換、交流の機会創出	テーマ別の町内会役員意見交換会の開催。町内会役員交流会の開催。
		2. ノウハウを持った専門性のある人材の育成・派遣等が必要	新規役員等への知識・スキル付与など人材の育成	実務的研修の充実。町内会アドバイザーの養成講座。町内会ヘルパー
	ウ. 連携	1. 各主体が連携するためのコーディネート役が必要	他町内会の活動事例などノウハウの共有、実践支援	専門性を持ったアドバイザーなどの派遣。
			継続的に地域に関われるコーディネーターの育成・確保	コーディネーター育成・認定制度。認定コーディネーターの派遣などマッチングの仕組み。
		2. NPO・企業等の得意分野を生かした地域協力の促進が必要	まちセンのコーディネート機能の強化	まちセン所長、支援員への研修やスキルアップ
企業のCSRの促進、参加のルールづくり			事業所周囲の清掃活動などを推奨。	
② 活 動 の 場	1. 公共施設等の活用が必要	地域活動の社会的評価の向上	NPO・企業の地域活動への参加を理念づける。	
		空き教室等の利用	空き教室を地域が会議等で利用しやすくする。空き教室で地域活動のパネル展示などを行う。	
	2. 既存施設の地域活用の推進が必要	事務所・空き店舗・空家の活用	企業の事業所や空き店舗、個人宅の空きスペースや空家を交流の場や会議スペースとして活用する仕組み。	
市民集会施設等がより広く利用されるような仕組み作り		より多くの人や団体が利用しやすい仕組み作り、地域開放に着目した運営費補助。		